



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕と友情



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016-2017 RI会長メッセージ

第1230回例会 2016年10月26日 No.1200号

## 会長時間



### 会長 賀谷 俊幸

皆さんこんにちは！！

本日は2710地区ガバナー田原栄一様、随員幹事大坂隆志様、ガバナー補佐静川 周様、補佐付幹事澤田英治様をお迎えしガバナー公式訪問及びフォーラムになります。平素より何かとお世話になりご指導いただきまして誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。特に田原ガバナー様とは数年前のGSEの時、オーストラリア/タスマニアからの社会人留学生と一緒に世話をしていただき誠に楽しい時間を共有できて、いい思い出になったと思っております。

また、大野 徹 様、土肥 博雄様、我が広島陵北ロータリークラブ例会に参加いただき誠にありがとうございます。ごゆっくりお楽しみください。

今回のガバナー公式訪問に関し当クラブとしては9月21日クラブ内フォーラム、10月21日静川ガバナー補佐、澤田補佐付幹事によるクラブ協議会を行いまして、ガバナー公式訪問に向けての準備は十分とは言えませんがそれなりのまとまりになったのではないかと思います。足りずのところは十分なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。以上本日は濃い内容といたしたいのでよろしく重ねてお願いいたします。

### 今回の例会(11月2日)

#### ゲスト卓話

広島北ロータリークラブ R財団常任委員会  
理事・委員長 石田 平二 様  
常任副委員長 上河内 裕司 様

### 次回の例会(11月9日)

#### 来賓卓話

広島県小学生体育連盟 会長  
藤本 法生 様

### 出席報告 (例会運営委員会)

#### 10月26日(水)出席者

会員総数	52名
出席会員	37名
欠席会員	15名
ご来賓	4名
ご来客	2名
ゲスト	0名

### 来客者紹介 (親睦家族委員会)

#### 10月26日(水)出席者

広島RC	1名
広島中央RC	1名

### 幹事報告(山田和弘)

#### ■お知らせ

- ・本日例会終了後13:40より田原ガバナー様をお迎えしてのフォーラムを「音戸の間」にて開催いたします。理事・役員・入会3年未満の方はご出席ください。次第・席次などを全員に配布しておりますので、ご確認下さい。
- ・10月30日(日)は地区大会が広島国際会議場で開催されます。ご出席下さいますようお願い致します。

【例会】毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】賀谷 俊幸 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F  
【幹事】山田 和弘 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【TEL】082-221-4894  
【FAX】082-221-4870

## 正副会長幹事懇談会

11時30分より田原ガバナー、大坂随員幹事、静川ガバナー補佐、澤田ガバナー補佐幹事をお迎えして、正副会長幹事懇談会が開催され、和やかな雰囲気懇談会が進められました。



## ガバナー公式訪問



国際ロータリー第2710地区 ガバナー  
田原 栄一 様

ガバナー公式訪問の主な目的は、会員の意欲を高め、クラブをサポートすることにあります。そこで、先ず、今日の卓話の機会に、2016-17年度RI会長テーマと目標、そして、ガバナー信条と地区運営方針について再度強調しますので、それらをクラブ活動に導入され、「元気なクラブづくり」に是非反映して頂きたいと存じます。更に、卓話の後に行われますフォーラムにおいて、既にお願ひした議題について協議させて頂きたいと存じます。

### ● RI会長テーマと強調事項・目標

先ず、ジョン・ジャーム RI 会長テーマは、「Rotary serving humanity : 人類に奉仕するロータリー」であり、非常にsimpleですが、重みのあるテーマであり、私は感動しました。事実、多くのロータリアンから、「これは、われわれが何をすべきかを示しており、人類への奉仕は、人生の最良の仕事である」と絶賛のメールが寄せられています。

彼は、「人類への奉仕はロータリーの礎であり、ロータリーの一員であることは、最初に小さな機会と思えても、ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会であり、更に、人類へのロータリー奉仕を通じてより良い世界を導く機会です。ロータリーは今、岐路にたっています。来年度はポリオ撲滅の可能性があり、ロータリーの歴史で最も重要な年を迎えますので、今から準備しておくことが極めて重要です。ポリオ撲滅にロータリーが果たした役割をクラブを通じて地域社会に認知してもらい、ロータリー入会こそ世界を変える方法であることを強調してください。そして、社会貢献への熱意をもつ職業人が集うロータリー独自の力を生かせば、大きな目標を達成することができます。ロータリーの前進には、単にロータリアンの数を増やす事ではなく、将来リーダーとなるロータリアンを増やすことです。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継続する名誉を授けられた私たちは、このような奉仕を行っていく責務があります」と述べています。



## ガバナー公式訪問

また、ジョン・ジャームRI会長は、昨年度と同じく5つの強調事項、即ち、会員の増強と維持、財団への寄付、オンラインツールの利用、新世代、そして公共イメージを示しました。これら5つの強調事項に、それぞれ目標が掲げられ、それらの組み合わせの達成が会長賞の受賞に繋がります。当ロータリークラブの皆様、是非会長賞にチャレンジして下さい。

加えて、彼は、2016-17年度ロータリー目標を示しました。それは、3つの優先事項と11の目標から成り、その内の4つの目標、即ち、「目標4:ロータリー財団に対するロータリアンの知識・参加・寄付を向上、目標5:永久にポリオを撲滅、目標8:財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める、目標11:「世界でよいこと」を続けてきた財団の100年の歴史における財団の功績、特にポリオプラスの成果に対するイメージと認識を高める」の4つは、ロータリー財団管理委員会が承認した財団の3カ年目標であります。

### ● ガバナー信条・地区運営方針

ジョン・ジャームRI会長テーマを受けて、私は、地区ガバナー信条を、「Vocational service only brings about happiness and peace: 奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」としました。ガバナー信条に掲げた「奉仕」は、ロータリーの目的である「職業奉仕」であり、その意図することは二つあります。その一つは、職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、人類の最大の敵であるがんの予防推進であります。

前者の職業奉仕の実践強化については、21世紀に入り社会生活は目覚ましい進歩を遂げたにも拘らず、道徳観の倒錯による政治、経済、科学等の様々な分野で不祥事が頻発しており、それを防止するためには、我々ロータリアンは何をなすべきでしょうか。それは、職業奉仕の理念を実践するための二つの行動指針が必要です。即ち、一つは「ロータリアンの行動規範」の遵法、もう一つは「四つのテスト」を言行です。それらは、職業倫理の高揚と人格の向上を惹起させ、究極的に我々に幸福(幸せ)を齎すからであります。まさに、それは、ポール・ハリスのいう「奉仕の生活」は「幸福の生活」を意味し、平和に繋がります。

後者のがん予防の推進については、我が国が抱える大きな社会問題、2025年に団塊世代が後期高齢者となり、がん難民の大発生(3人に2人ががんに懸り、がん死亡者3分の2が後期高齢者)について、我々ロータリアンひとり一人が危機感を持ち、ロータリーとして対策を立てる必要があります。

そこで、ロータリー戦略計画の重点分野「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を3年間の地区戦略計画として立ち上げ、地区奉仕プロジェクト委員会の中に「がん予防推進委員会」を設置しました。その目的は、ロータリアン自身及び高齢者社会のニーズを満たす奉仕活動「がん予防の普及推進」の実践を通じて、がんになっても安心して働き暮らせるよう、自己責任に基づく健康管理を目指すものです。

その具体的な活動方針には二つあり、一つは、我々ロータリアン一人ひとりが、がん予防を「生活習慣病」として把握し、がんの一次予防(禁煙・生活習慣改善)と二次予防(早期発見・早期治療)によって齎される健康寿命の延長と健康経営、即ち「企業従業員の健全な「心と身体」を戦略的に創り、もって健全な経営を維持すること」の推進です。もう一つは、職業スキルを生かした青少年へのがん教育です。

強調したいことは、がん予防とがん教育は、健康に生きるための地域づくりであり、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、地域社会の人々の命を守り、さらに、ロータリーの将来を担う次世代の人達が健康に生きるために必要なことでもあります。

将来、国際ロータリー第2710地区が我が国で最もがん罹患率・がん死亡率が低く、早期発見・早期治療によりがんになっても、幸福の生活を過ごせる地区になることを実現しようではありませんか！

ここで、がん予防に関連して、私のロータリーモメントに触れてみたいと思います。

昭和16年、肺結核症で父と私が枕を並べる闘病生活の末、父の死と引き替えに私は生き残りました。残された母と5才の私は親一人子一人で苦難の道を歩み、私は幸にも医学の道に進むことが出来ました。そして、病理学者として、58年間、がん研究一筋に取り組み、得られた研究成果をがん医療に導入して、がんの確定診断である分子病理診断を実践する共に多くの後継者を育成しました。

## ガバナー公式訪問

同時に、昭和56年に広島中央ロータリークラブに入会して、「四つのテスト」に共感し、広島の財界、広島大学、医師会等の支援により、平成4年に財団法人広島がんセミナーを設立しました。そして、毎年国際シンポジウムの開催、がん予防のための県民公開講座、若いがん研究者への助成等の事業に取り組んで来たのであります。

このように、今日まで、がんと闘う研究と事業に取り組んでこられたのは、真摯に「がん」と向き合い、自分の生活の基盤となるロータリーの理念を実践した結果であり、もしロータリーに入会していなかったならば、自分の職業スキルを生かした人道的な奉仕活動を継続することが出来なかったと云っても、過言ではありません。まさに、ロータリーに感謝です。

ここで、ポール・ハリスの著書「ロータリーの理想と友愛」の中で、「奉仕の理念の意味」の章において、ポール・ハリスが最初に引用したトーマス・カーライルの名言を披露しましょう。即ち、19世紀イギリスの有名な歴史家であるトーマス・カーライルは、「一生懸命誠実にひとつのことを成し遂げとする努力、それはこの世の初めから人間をとりまくあらゆる病や苦悩に対する偉大な療法である」と述べています。

私のガバナー信条「奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」の原点は、このトーマス・カーライルの名言にあることを披露します。

次に、8つの地区運営方針について説明します。それらは、戦略計画の優先事項と目標を含んでおります。

### 1) 永久にポリオを撲滅。

ポリオ撲滅まであと少しです。2018年に、ポリオ撲滅宣言の予定です。1985年、「ポリオプラス」を開始し以来、発症数は年間35万件から10件以下にまで減少し、「ポリオのないアフリカ」となりました。しかし、パキスタンでは、依然として野生ポリオの感染が続いています。忘れてはならないことは、ポリオプラスの世界における最初の提唱者は、東京麹町RCの故山田・故峰両氏です。従って、我々は誇りを持って、ポリオプラス基金の寄付のみならず、ポリオ撲滅のための募金運動を展開して頂きたいと思えます。

### 2)「ロータリアンの行動規範」を遵法

「四つのテスト」と同様に、例会での唱和を推奨します。これは、ロータリアンとしての自己研鑽に繋がり、将来リーダーとなるバイブルです。広島中央ロータリークラブは、昨年度から、例会で、これと「四つのテスト」を唱和しております。

3)「職業奉仕」の行動指針である「四つのテスト」を職業生活のみならずロータリアン自身の日常生活全てに言行。また、青少年にも「四つのテスト」の実践を促す。「四つのテスト」はロータリーの基本理念の一つであることを留意してください。

4)「ロータリー戦略計画」の理解に努め、クラブに戦略計画委員会を設置し、クラブ独自の戦略計画を立ち上げ、クラブレベルで実践しよう。特に、重点分野の奉仕活動に取り組もう。

重要なことは、ロータリーの戦略計画のDNAは、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップの5つの中核的価値観から構成されていることです。現在、地区クラブの6割が戦略計画委員会を設置していますが、まだ設置されていないクラブは是非戦略計画委員会を立ち上げて、グローバル補助金を利用して効果的なプロジェクトに取り組んで頂きたいと思えます。

5) 会員維持・会員増強について、クラブでの戦略目標を作り、クラブ及びローリアンひとり一人が真摯に取り組む。

毎年会員増強の目標を立て、それを達成して、クラブと地域社会に貢献している実感できる元気なクラブづくりが、会員維持・会員増強の原動力です。また、入会候補者向けの説明会、例会への招待、懇親会等を開き、ロータリー会員になるメリットを紹介してください。他方、会員維持には、新会員向けの研修セミナーや炉端会議等を開き、ロータリーへの理解を深めてもらいましょう。広島中央ロータリーでは、戦略計画委員会による新会員への研修セミナーを年3?4回開いています。尚、RI会長は、退職者と若い人の入会を推奨しています。純増2名/クラブをお願いします。

## ガバナー公式訪問

ここで、会員維持に関連して、有名な英国紳士のエドワード・グレイ(第一次世界大戦時に外務大臣)が提唱した「幸福であるための4つの条件」を紹介します。即ち、彼は、第一は、自分の生活の基盤とする思想、第二は、良い家庭と友達、第三は、意義のある仕事、そして、第四は閑を持つことを挙げました。ロータリアンの皆様には、自分の生活基盤となる思想である「ロータリーの理念」を持ち、良い家庭と友達を持ち、意義のある仕事をお互いに持ち、そして、クラブ同好会で会員相互が楽しく自己研鑽するための閑を持ち、グレイの掲げた4つの幸福の条件を満たしておられると拝察します。是非クラブ同好会を会員維持に利用して頂きたいと存じます。

6) 重点分野の1つ「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を、職業奉仕「ロータリアンは如何に生きるかという生活姿勢」として把握し、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、学校、地域社会で実践する。

- \*がん一次予防(禁煙啓発運動・食生活改善)の普及推進
- \*がん二次予防によるがん早期発見(検診受診率の向上)と早期治療
- \*自分の職業スキルを生かして、青少年に対するがん教育の推進
- \*ガバナー補佐は、「地区がん予防推進委員会」との連携のコーディネーターとして活躍する。

先般のガバナーエレクトを囲む会において、地区73クラブの8割ががん予防に取り組むこと、全てのIMががん予防に関連したテーマであることを知り、大変心強く感じました。今後、この戦略計画がクラブ、職場、学校で実践され、更に、3年間継続することを強く要望します。

ここで、ロータリーとがん予防には、「共存共栄」という共通の理念があることを紹介します。

- \*「ロータリーとかけて、共存共栄と解くーその心は、利己と利他の調和」  
(2008-09年度ガバナー 諏訪昭登)
- \*「がんとかけて、共存共栄と解くーその心は、長い自然史と予防の調和」  
(2016-17年度ガバナー 田原榮一)

がんが臨床的に発見されるまでに、10-20年の長い自然史があり、それには、青少年時代の生活習慣が関与し、生活改善によりがんを予防できること(一次予防)、がんを早期に発見すれば、がんは完治できること(二次予防)、がんの治療により、がんと共存して生活できること(三次予防)です。尚、田原年度のガバナー月信には、「がん予防」の欄を設けましたので、是非ご高覧ください。

7) ロータリーの公共イメージと認知度の向上に取り組もう。

その目的は、ロータリーのブランドイメージを向上させ、ロータリーの中核的価値観と人道的・職業的奉仕というロータリーの強みを、地元レベルと国際レベルで周知を図ることです。ロータリーのブランドである「ロータリーとは何か」、「ロータリーは何をする団体か」、「なぜロータリーは大切か」をロータリアン自身が充分理解して、公共イメージの向上に取り組んで頂きたいと思います。もう一つお願いしたいことは、ロータリー財団100周年をお互いに共有して、ポリオ撲滅運動や財団100周年記念事業の遂行です。例えば、IM、RYLA、ローターアクト・インターアクト大会、地区補助金事業、クラブ創立記念事業、ゴルフや野球大会を含む親睦会等に「ロータリー財団100周年記念事業・ポリオ撲滅まであと少し」という冠を付けて下さいますようお願いいたします。

8) 平和推進地区である第 2710 地区から、「ヒロシマの平和」の理念を発信する共に、久遠の平和に貢献する「ロータリー平和フェロー」への応募です。

戦後71年を過ぎた今日、「ヒロシマの平和」の理念:「戦争のない平和、核兵器のない平和」が風化傾向にあります。「ヒロシマの平和」の理念はロータリーと同じであり、ロータリーを通じて、その理念を世界に発信し、同時に次世代に伝道していく必要があります。それには、先ず、原爆資料館を訪問して頂きたいと存じます。事実、今年5月27日、オバマ米国大統領が、歴史的な広島訪問を行い、「核なき世界」を将来追求していく必要性を訴えました。それは、ジョン・ジャームRI会長のテーマの理念に通じるものであり、我々は、田中作次元RI会長のテーマ「ロータリーを通じて平和」を忘れてはなりません。



## フォーラム

例会終了後、田原ガバナー、静川ガバナー補佐、澤田ガバナー補佐幹事をお迎えして、フォーラムを開催しました。各理事、委員長の方から忌憚のない意見が出され、有意義な時間になりました。



## フォーラム

会員増強委員長 渡部 邦昭 会員

「元気なクラブ」づくりのために。

会員増強委員長として思うことについて、以下のとおり、述べさせていただきます。

1. ポール・ハリス・・・ロータリーの物語は何度も書き換えられなければならないが、人類のために奉仕するというロータリーの理念は失われることはない。

ラビンドラン(元R1会長)・・・確実に前進するには、ロータリーの大切な財産である会員基盤を築かなければならない。そのためには、大勢の会員がいるだけでなく、多様な会員がいるクラブ、スキルだけではなくやる気のあるクラブ。・・・意欲だけでなく、成功する力のあるクラブを築く必要がある。

松井五郎(パストガバナー)・・・ロータリーの精神は資本主義の潤滑油である。

2. 「魅力のあるロータリークラブ」であり続けるために。会員増強と退会防止に向けて何をなすべきか。

●会員相互のロータリー活動に対する理解の共有化や会員レベルの向上に研修委員会による研修の機会を今まで以上に設けるべきである。●「魅力あるロータリークラブ」にするために、例会・卓話の充実をはかるべきである。また、委員会活動も活性化すべきである。●当クラブの奉仕活動は地域の社会奉仕活動を中心にやってきたが、国際奉仕活動にも関心を向けるべきである。●5年後の会員数目標として70名までは努力するべきである。

3. 初代会長の二宮義人先生の提唱された当クラブの「心ゆたかなロータリアン」というクラブテーマについては今後も維持したうえで奉仕活動に取り組むこととしている。

4. 当クラブの課題-職業分類の観点から。医師が少ない現状を変える必要があるのではないか。

5. 当クラブの現状(会員数51名)を踏まえて、会員増強を図るためにはどうしたらよいか。ご教授願いたい。

直前会長 川中 敬三 会員

元気なクラブづくりのための戦略計画

2014～2015年長期ビジョン特別委員会を作り、今迄の戦略計画、長期計画を見据えて、今後陵北RCとしてどういうクラブに再構築したらよいか、色々な観点より協議してきた。陵北RCの創立時初代会長二宮義人先生のカリスマ性で学校教育、特にスポーツに対しての奉仕活動を主として取り組んできた。25年もたつとそのクラブとしての気風もうすれ余り特長のないクラブになり、外から見ると落ち着いた、平穏なクラブに成って来ていた。かつては60名以上の会員数で活気に満ちた良き時代から、30数名にまで減少してきた。その時、当時の下田会長の基、数が最重要とメンバーの獲得に動かれ50名を超えるまでにのびてきた。当然若いメンバーが大挙して入会されたのでロータリーの勉強会をやるとう言う事になった。まずは、クラブ奉仕の充実、徹底、基本重視(ていねいな例会運営)に取り組んだ結果、少し厳しいかもしれないが、例会が重々しく成った。次に取り組んだのが、外部より見た陵北RCの魅力はどこにあるのか。又、内部からは、いきいきと奉仕活動に取り組み、ロータリー財団、青少年奉仕に積極的に取り組む姿勢であった。これらを長期ビジョン特別委員会で精査し、検証していった。それと同時にクラブメンバーのロータリーの質を向上させるべく、毎年、会長、副会長、幹事、副幹事にRLIの研修に積極的に参加し、リーダーとしての気質の向上にも努めている。クラブメンバーに、例会とは、奉仕とは、親睦とは、など色々なアンケートを取り、フォーラムで理想像の構築をもめざした。本年長期ビジョン特別委員会として、50周年に向けての陵北の明確なビジョンづくりに励んでいる。陵北の陵北たる所以は、どこか、何か、それをアイキャッチャーに謳い、旗頭として新規会員募集に邁進し、活力漲る奉仕活動に勤しむ事を目標に、今取り組んでいるところです。そのビジョンの中で、より短期、中期の計画を明確に立て、実践できれば戦略計画として充実した結果が残せると考えます。その中で質問として、○職業分類の充実、○30～40才の若いメンバー増員、等で均衡のとれたのが理想ですが、ある一方では、数の重視ゆえ、メンバーの奥さん、家庭人もメンバーに勧誘しようとしていることにどう思われるかお聞きいたします。クラブの中でよく話し合い、クラブの将来性を踏まえ、一步一步進んでいく事が望ましいとお答えがありました。